

千葉大学医学部附属病院で原発性アルドステロン症 精査治療のため入院された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年6月25日

糖尿病・代謝・内分泌内科

糖尿病・代謝・内分泌内科では、「原発性アルドステロン症患者におけるエサキセレノン治療後のレニン抑制解除に関連する臨床的特徴の検討」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2020年3月1日～2025年6月30日の間に原発性アルドステロン症の診断で当院で加療された方

1. 研究課題名

「原発性アルドステロン症患者におけるエサキセレノン治療後のレニン抑制解除に関連する臨床的特徴の検討」

2. 研究期間

2026年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

原発性アルドステロン症に対するエサキセレノン治療において、レニン抑制解除を達成する患者の特徴を明らかにし、適切な治療の開発に資する知見を得ることを目的とします。2021年4月以降にエサキセレノンを開始し5mgまで増量された原発性アルドステロン症患者を対象に、診療録を用いた当院のカルテ内の過去の情報を利用した研究を実施します。治療後レニン活性が1 ng/mL/hr未満の群と1 ng/mL/hr以上の群に分類し、患者背景、ホルモン値、検査所見、合併症および治療反応性について比較検討します。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別等の患者背景、血圧、身体計測値、原発性アルドステロン症の診断および

病型分類に関する情報、血漿レニン活性、血漿アルドステロン濃度、ARR、ACTH、コルチゾール、血清電解質、腎機能、尿検査、BNP、糖代謝関連指標、合併症、投薬内容および治療経過等の診療情報。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：糖尿病・代謝・内分泌内科 鈴木 佐和子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院糖尿病・代謝・内分泌内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

糖尿病・代謝・内分泌内科

医師 鈴木佐和子

043（222）7171 内線5255